

真備緊急治水対策プロジェクト完成

平成30年7月豪雨では、高梁川水系小田川沿川の倉敷市真備町において、堤防の決壊や越水等により甚大な被害を受けました。

国・県・市が連携し進めてきた「真備緊急治水対策プロジェクト」において、再度災害防止を図るため、小田川合流点付替えや、県管理の小田川3支川における重点的な堤防整備などのハード対策を実施してきた河川激甚災害対策特別緊急事業が、2024年3月に完成します。

H30.7 豪雨被害に対する激特事業の概要

■事業期間 2018年度～2023年度

■整備効果 H30.7 豪雨と同等の出水を安全に流下できる

(国事業)

□河川名 (一) 小田川

□事業費 約426億円

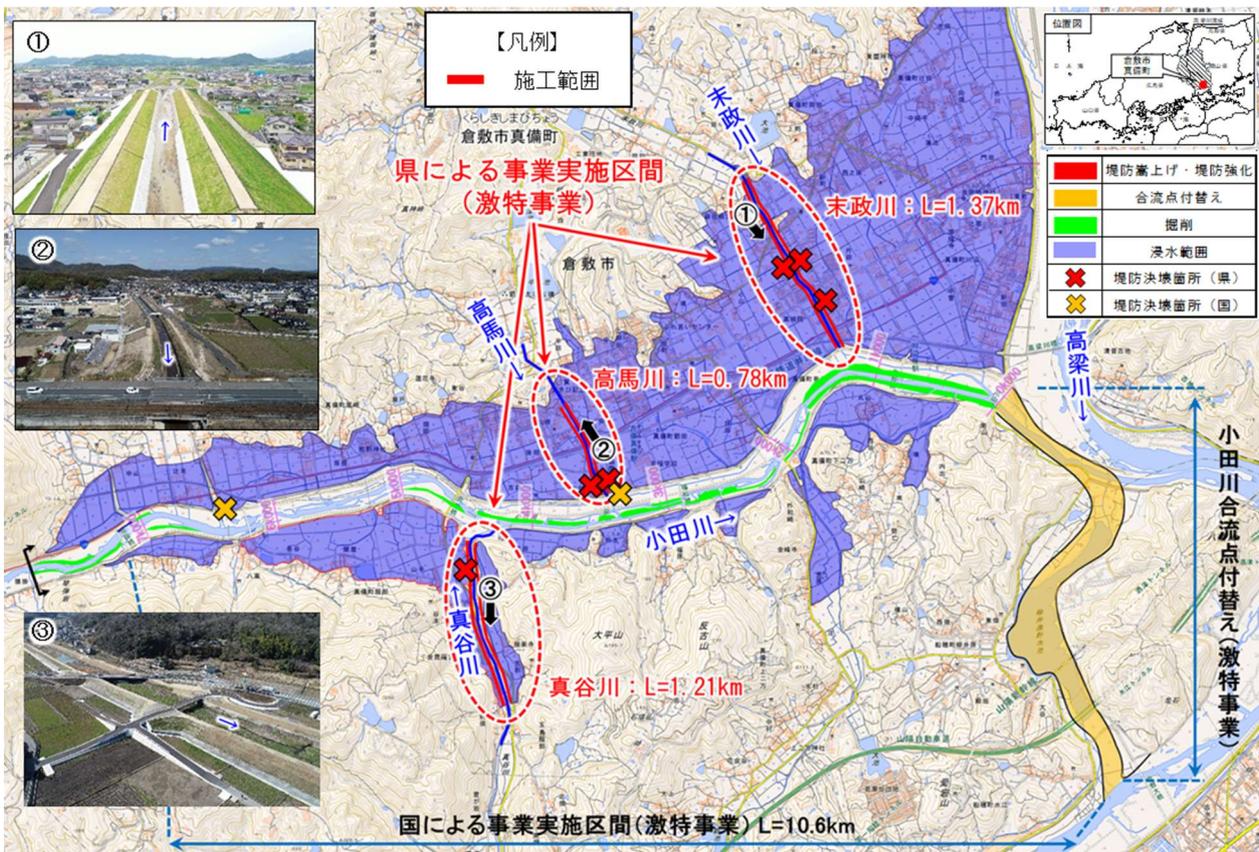
□事業内容 合流点付替え、堤防強化

(県事業)

□河川名 (一) 末政川、(一) 高馬川、(一) 真谷川

□事業費 約110億円

□事業内容 堤防嵩上げ、堤防強化、橋梁架替



■式典概要

式典名：小田川合流点付替え事業等竣工記念式典（真備緊急治水対策プロジェクト完成）

日時：2024年3月23日（土）14：00～

場所：マービーふれあいセンター 竹ホール

主催：国土交通省中国地方整備局、岡山県、倉敷市

※会場の収容人数の関係により、

出席は招待者のみ